

よろず「0円店舗改善」特集

秋田県よろず支援拠点

幅広い経営知識と高い専門性を有する多数のコーディネーターが、相談者の課題を抽出把握して、課題解決を目指した提案に基づきチーム支援します。

【お問い合わせ】 TEL.018-860-5605

0円
相談

かつては物流の拠点として、県内有数の商業地であった増田町(現:横手市増田町)。往時の栄華を伝える「内蔵の町」は、多くの観光客を魅了してきた。増田蔵町通りのメインストリート(中七日町通り)に位置する升川商店は、こだわりの商品と内蔵の魅力を更に外へと発信すべく、今年2月から店舗改善に取り組んでいる。



大量の
着物で埋まっていた
小上がりも整理。
着物を見たり広げたり
できる空間に。



内蔵・蔵周りの
スペースは今後整理を
進めていく予定。



「改善を進めるうちにどんどん
意欲がわきました」と升川さん。



入り口は
大正浪漫の
世界観がテーマ。
客の興味を引きつける
ディスプレイに。

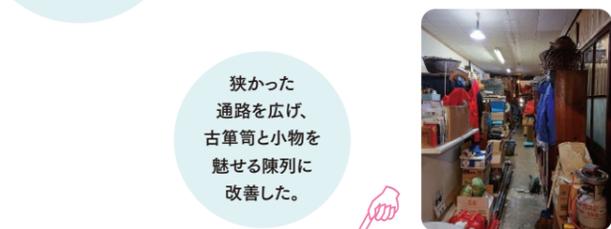


升川商店 店主 升川 晴充 ますかわ はるみつ

升川商店 〒019-0701 秋田県横手市増田町増田七日町155
TEL・FAX.0182-23-7404 <http://kuramachi.info/>

店舗改善で気持ちも新たに

升川商店(旧きもの升川)は、1978年に升川晴充さんが呉服屋として創業した。時代の流れとともに、古着の着物や古物販売も始め、現在所有する着物の数は数千点。「数が多くて、物の所在が分からない状態でした」と話す升川さん。奥行50メートルの店舗の入り口から奥まで大量の商品が置かれ、通るのに苦労する状態だったという。コロナ禍で売り上げが減少する中、昨年10月、升川さんは「年長的に閉店や店の売却も考えているが、思い入れのある商品をできるだけ自分で売りたい気持ちもある」とよろず支援拠点へ相談。よろずのコーディネーターは、商品の魅力が伝わる店舗への改善を提案した。店舗のスペースを①入り口付近、②通路、③小上がりに区分して、蔵と古物の魅力を引き出すレイアウトに変更。通りに面した入り口スペースは「大正洋間的空間」をテーマにディスプレイし、内蔵へと続く通路には、動きを持たせて古筆筒を並べた。



狭かった
通路を広げ、
古筆筒と小物を
魅せる陳列に
改善した。



「提案していただいて、一緒に汗までかいてくれるよろずコーディネーターの真摯な姿に突き動かされました。次の世代にもアピールできる良い店にしたい。店舗改善で妻と2人、プラス思考になりました」。



秋田県よろず支援拠点
チーフコーディネーター
加藤 剛 かとう たけし

大手小売業において店長、商品部長、プロジェクト室長などの経営幹部を経験し、独立後は海外展開支援コンサルタントとして日本の食や伝統産業の海外展開をサポート。

観光地であっても商店街であっても、街は変わり続けているから存続できます。いつのまにか停滞してしまったら、それが衰退の始まりです。

「0円店舗改善」は、停滞しつつある街をもう一度活かしたい、見えるようにしたいという思いから始まりました。どんなお店にも価値はたくさんあるのですが、その価値は隠れていたり倉庫に埋もれていたりして、事業者様自身では気づけないものです。私たちコーディネーターが客観視して、価

値を発掘しその魅力を高めることで、事業者様もその価値をあらためて認識できるようになります。

「0円店舗改善」は、事業者様の未来の光を見つけるきっかけづくりです。改善したお店で再スタートして、事業者様の持っている力が再び活かされたら、地域は変わり街は発展していくでしょう。

改善後、事業者様はこう言います。もう以前の店には戻りたくない。本年度は県内15店舗で実施しました。チャレンジをお待ちしています。



町並みに溶け込む色の看板は、北都銀行創業の地である増田町でのみ見られる。

北都銀行増田支店 支店長 藤原 裕臣 ふじわら ひろおみ

北都銀行 増田支店 〒019-0701 秋田県横手市増田町増田七日町127
TEL.0182-45-3031 FAX.0182-45-5331
<https://www.hokutobank.co.jp/>

地域の一員として

変貌した升川商店の姿に目を細めるのは、ご近所さんの北都銀行増田支店の支店長、藤原裕臣さん。「魅力的な店舗に改善することで、店主にまた頑張ってみようと思わせるのは素晴らしいと思います。アフターコロナに観光客が戻れば、お店も地域もさらに元気になっていけるでしょう」と話し、他の店舗にも店舗改善やよろず支援拠点を紹介している。

「増田支店へ赴任してからちょうど1年になりました。コロナ禍でイベント等が制限され、地域の皆さんとの交流機会が少なくなっている中で、この町と人を良く知るためにも、地域の事業には積極的に参加してコミュニケーションを取っていきたいですね」と藤原さん。同支店は増田町の蔵や町並みを守る「増田まちなみ保存会」、「増田蔵の会」に所属し、会員の活動を後押ししている。昨年と今年は同行地方創生室と同支店が事務局となり、中七日町通りでコロナ退散祈願燈籠祭が開催された。「この地域には、活性化に向けて取り組んでいる方々が多くいらっしゃいます。銀行として、地域の一員として、今後とも増田地域を盛り上げる仕掛けをつくって応援していきたいと考えています」。